

【公開講演会】



ルワンダで義足 を作る — 25年目の再スタート —



1994年のルワンダでの大虐殺以降、講師のルダシングワ真美氏とガテラ・ルダシングワ・エマニュエル氏は、現地で製作所を立ち上げ、1万人以上に義肢装具や杖を無償で配布してこられました。ところが、2020年に政府により活動場所が強制撤去。その後、さまざまな苦難を乗り越え、再び義肢製作所を建設し、活動を再スタートしておられます。本講演では、お二人にルワンダにおける障害者の実情とともに「ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」のこれまでの活動の軌跡を紹介していただきます。みなさまのご参加をお待ちしております。

日時： 7月7日(金) 11:30～13:00

場所： 神戸女学院大学 D-206 教室

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4-1

参加費
無料

○キャンパス内は全面禁煙となっております。ご了解ください。

○自家用車でのご来場はご遠慮ください。タクシーでお越しになる場合は西門をご利用ください。

○学院内セキュリティ強化の為、北門と谷門は閉門しております。正門よりご入校ください。

申込み： 右横のQRコード、または以下のリンクから
6月30日(金)までにお申込みください。

<https://onl.la/udueVKh>

お問い合わせは、

kanata@mail.kobe-c.ac.jp (総合文化学科・金田知子)まで。



【講師紹介】

ルダシングワ(吉田)真美氏

1989年ケニア・ナイロビにあるスワヒリ語学校に半年間留学し、その後東アフリカを旅行中に、パートナーのガテラさんと出会い、ルワンダ大虐殺やルワンダの障害者の状況を聞き、義肢装具士になることを決意。1992年より横浜の義肢製作所に弟子入りし、修業をする。1996年ガテラさんと共にNGO「ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」を設立。外務大臣表彰(2017年)、地球倫理推進賞(2017年)、文部科学大臣賞(2017年)、読売国際協力賞(2018年)、吉川英治文化賞(2021年)を受賞するなど受賞歴多数。

ガテラ・ルダシングワ・エマニュエル氏

幼い頃、治療ミスのため右足が麻痺し、障害者の施設で育つ。1996年真美さんとともにNGO「ムリンディ／ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」を設立。翌年には首都キガリ市に義肢製作所を設け、義肢装具の製作、義肢装具士の育成、障害者スポーツの普及などの活動を進めている。2000年シドニーパラリンピックにルワンダの障害者を参加させた。現ルワンダ事務所代表。

